



ふくいの土地改良

271



「未来へつなごう!ふるさとの水土里」子ども絵画展2025 佳作
「ぼくのじいちゃん」 小浜市立 今富小学校 2年生 辻 奏心 さん
(受賞時の学年を記載しています。)

会議報告

.... 1

- ・ 福井県土地改良事業団体連合会 第68回通常総会
- ・ " 第239回理事会
- ・ " 第68回表彰式
- ・ 全国土地改良事業団体連合会 第68回通常総会
- ・ " 第67回表彰式
- ・ 福井県多面的機能発揮推進協議会 通常総会
- ・ " 「田んぼダム推進部会」
- ・ 第18回 福井県農村整備事業推進協議会 通常総会
- ・ 福井県受益農地管理強化委員会
- ・ 福井県管理運営体制強化委員会
- ・ 令和7年度 北陸地区農地集団化促進協議会総会

要請活動

.... 6

- ・ 農業農村整備の集い
- ・ 北陸四県土連協議会 中央要請
- ・ 県内各農業農村整備事業推進協議会 合同要請

各種研修

.... 8

- ・ 換地計画実務研修会
- ・ 令和8年度土地改良関係団体若手職員基礎研修

お知らせ

.... 9

- ・ 福井県大区画化等推進協議会
- ・ 農家負担金軽減支援対策事業
- ・ 第48回全国土地改良大会 奈良大会
- ・ 第7回ふくいの農ある風景フォトコンテスト
- ・ GREEN × EXPO 2027
- ・ 農業基盤整備資金利率



会議報告

福井県土地改良事業団体連合会 第68回通常総会



▲挨拶をされる山崎会長

令和8年3月21日(土)、福井県自治会館にて「福井県土地改良事業団体連合会 第68回通常総会」を開催しました。

総会では、山崎正昭会長の開会挨拶の後、来賓である石田嵩人福井県知事、小堀友廣福井県議会議長、植野栄治北陸農政局長、稲田朋美衆議院議員からそれぞれご祝辞をいただきました。また全国水土里ネット会長会議顧問である、進藤金日子参議院議員からビデオメッセージをいただきました。



▲挨拶をされる石田知事

その後議事に入り、福井朝日土地改良区の森下良夫理事長が議長に選任され、令和6年度事業報告並びに収支決算、令和8年度事業計画並びに収支予算、定款の一部改正の他、役員の補欠選任等の全8議案について審議され、いずれも原案どおり可決いたしました。役員の補欠選任においては、選考委員による選考を経て、欠員となっていた監事に足羽川堰堤土地改良区連合の澤井照男理事長が就任されました。

最後に事務局により決議文が朗読され、満場一致の拍手で採択され、閉会となりました。

福井県土地改良事業団体連合会 第239回理事会

令和8年3月21日(土)、第68回通常総会終了後に福井県自治会館にて「福井県土地改良事業団体連合会 第239回理事会」を開催しました。

本理事会では、廣畑佐一理事が副会長の職を退任することに伴い、後任の副会長の互選が行われました。理事一同による審議の結果、下記名簿の通り、永平寺町長の河合永充理事が副会長に互選されました。

【役員名簿】 (赤字:新役員) (青字:互選)

会 長	山 崎 正 昭	参議院議員	理 事	佐々木 勝久	鯖江市長
副 会 長	河 合 永 充	永平寺町長	〃	杉 本 博 文	池田町長
専務理事	小 堀 健 司	学識経験者	〃	力 野 豊	敦賀市土地改良区理事長
常務理事	伊 藤 尊 泰	学識経験者	〃	戸 嶋 秀 樹	美浜町長
理 事	廣 畑 佐 一	学識経験者	〃	中 塚 寛	おおい町長
〃	木 村 市 助	芝原用水土地改良区理事長	〃	川 合 久 利 子	学識経験者
〃	山 本 文 雄	九頭竜川鳴鹿土地改良区理事長	〃	竹 内 成 子	学識経験者
〃	木 村 强	坂井土地改良区理事長	代表監事	齊 藤 恵 治	坂井北部土地改良区理事長
〃	松 田 山 列	大野東部土地改良区理事長	監 事	澤 井 照 男	足羽川堰堤土改区連合理事長
〃	水 上 実 喜 夫	勝山市長	〃	杉 本 寛 重	日野川用水土地改良区理事長

福井県土地改良事業団体連合会 第68回土地改良功労者表彰・感謝状贈呈

令和8年3月21日(土)に開催した第68回通常総会(1頁)にあわせて、「第68回土地改良功労者表彰・感謝状贈呈」を開催しました。

今回の表彰では、土地改良事業の推進にご尽力いただいている土地改良区役員14名の方々に表彰状を、また県において土地改良事業に貢献いただいた4名の方々に感謝状を贈呈しました。

● 個人表彰

【役員表彰】 14名

川 端 智 雄	足羽文殊土地改良区 理事
渡 邊 勝	元 福井素土地改良区 理事長
堀 川 清 治	春江町土地改良区 理事
辻 総 八 郎	勝山市土地改良区 会計担当事務
大 谷 哲 夫	大野市土地改良区 理事
川 端 保 郎	前 日野土地改良区 理事長 前 日野川用水土地改良区 副理事長
青 木 源 久	前 日野土地改良区 理事
高 橋 茂 則	元 武生王子保南部土地改良区 理事長
奥 井 莊 一 郎	小浜谷田部土地改良区 理事長
森 田 治	小浜府中土地改良区 理事長
福 田 寛 城	前 上中土地改良区 理事長
森 口 寅 雄	前 上中土地改良区 副理事長
小 原 好 一	元 おおい町土地改良区 理事長
北 村 伸 治	前 敦賀市土地改良区 副理事長

● 感謝状 4名

中 川 俊 幸	元 福井県嶺南振興局 副局長
武 田 真 晃	元 福井農林総合事務所 所長
廣 部 明 泰	元 丹南農林総合事務所 農村整備部長
尾 形 英 樹	元 丹南農林総合事務所 農村整備部 計画管理課 主任

※ 個人表彰者の役職については表彰時のものを記載しています。



▲表彰式の様子



▲表彰者の皆様



▲個人表彰代表者:小浜谷田部土地改良区 奥井理事長



▲感謝状代表者:中川 俊幸 様

全国土地改良事業団体連合会 第68回通常総会

令和8年3月25日(水)、全国都市会館にて「全国土地改良事業団体連合会 第68回通常総会」が開催されました。総会では令和7年度一般会計収入支出補正予算、令和8年度事業計画や収支予算の他、定款変更、役員の補欠選任等の全11議案が審議され、全議案原案通り承認可決されました。また役員の補欠選任では、新たに理事として群馬県土連の熊川栄会長及び宮崎雅夫氏が選任され、あわせて宮崎雅夫氏の副会長就任が発表されました。役員名簿は下記の通りです。

【役員名簿】

会 長	二 階 俊 博	和歌山県土地連 会長	理 事	熊 川 栄	群馬県土地連 会長
副 会 長	山 崎 正 昭	福井県土地連 会長	〃	中 野 治 美	愛知県土地連 会長
〃	北 村 経 夫	山口県土地連 会長	〃	古川隆三郎	長崎県土地連 会長
〃	宮 崎 雅 夫		〃	本 坊 輝 雄	鹿児島県土地連 会長
専務理事	室 本 隆 司		〃	高 貝 久 遠	秋田県田沢疏水士改区理事長
常務理事	市 村 和 寿		〃	星野恵美子	那須野原土改区連合専務理事
理 事	菊 地 博	北海道土地連 会長	〃	西 岡 真 帆	清水建設(株)ユ・ボ・レイト企画室主席デザイナー
〃	伊 藤 康 志	宮城県土地連 会長	代表監事	三ツ林裕己	埼玉県土地連 会長
〃	佐 貝 全 健	山形県土地連 会長	監 事	池 田 洋 光	高知県土地連 会長
〃	佐 藤 勉	栃木県土地連 会長	〃	竹 内 啓 二	愛知用水士改区 理事長

令和7年度 全国水土里ネット表彰式



▲祝辞を述べる鈴木農林水産大臣



▲松岡吉野土地改良区 川崎理事長



▲河合春近土地改良区 伊藤理事

令和8年3月25日(水)、シェーンバッハ・サボーにて全国水土里ネット表彰式(第67回全国土地改良功労者表彰、農業農村整備優良地区コンクール)が開催されました。

この表彰式では、第67回全国土地改良功労者等表彰の団体表彰の7地区と50団体、個人表彰の117人、農業農村整備優良地区コンクール農業振興部門の13地区、同じく中山間地域等振興部門の8地区が受賞の栄誉に輝きました。

福井県からは下記の団体及び個人が、長年の福井県における土地改良事業への貢献を称えられ、受賞しております。

第67回全国土地改良功労者等表彰

【全国水土里ネット会長表彰】

●団体表彰

松岡吉野土地改良区(理事長 川崎 利弘)

●個人表彰

伊藤 敏夫(河合春近土地改良区 理事)

※ 個人表彰者の役職については令和8年3月25日表彰時のものを記載しています。

福井県多面的機能発揮推進協議会 通常総会

令和8年5月18日(月)、福井県自治会館 201研修室にて、26名出席のもと「福井県多面的機能発揮推進協議会 通常総会」を開催しました。会長である福井県農林水産部の砂村隆志副部長が議長を務め、下記の4議案について審議され、原案のとおり承認されました。令和8年度の役員は下記のとおりです。

【議案】

第1号議案	令和7年度 事業実績及び収支決算の承認について
第2号議案	令和8年度 事業計画及び収支予算(案)の承認について
第3号議案	活動組織と外部団体とのマッチングサービス実施要領の制定について
第4号議案	役員の改選について

●令和8年度 役員

会 長	福井県 農林水産部 副部長	砂 村 隆 志
副 会 長	福井市 農林水産部 部長	藤 田 嘉 裕
	福井県土地改良事業団体連合会 専務理事	小 堀 健 司
監 事	敦賀市 産業経済部 部長	有 乗 正 志
	福井県農業協同組合中央会 参事	新 田 聡

福井県多面的機能発揮推進協議会「田んぼダム推進部会」

令和8年5月18日(月)、福井県自治会館 201研修室にて福井県多面的機能発揮推進協議会通常総会終了後に「田んぼダム推進部会」が開催されました。

部会では、部会員25名が出席のもと、鯖江市都市整備部上下水道課の若泉秀和課長が議長を務め、下記の3議案について審議され、全議案原案のとおり承認されました。令和8年度の役員は下記のとおりです。

【議案】

第1号議案	令和7年度 事業実績及び収支決算の承認について
第2号議案	令和8年度 事業計画及び収支予算(案)の承認について
第3号議案	役員の選任について

●令和8年度 役員

部 会 長	福井県 農林水産部 農村振興課 参事	三 木 浩 史
副部会長	鯖江市 都市整備部 上下水道課 課長	若 泉 秀 和

第18回 福井県農村整備事業推進協議会 通常総会

令和8年5月18日(月)、福井県自治会館 201研修室にて15時より、会員18団体すべての参加をいただき、「第18回 福井県農村整備事業推進協議会 通常総会」を開催しました。

議長は会長の代理として当会の小堀健司専務理事が務め、下記5議案について審議され、全議案原案どおり承認されました。

【議案】

第1号議案	令和7年度 事業報告について
第2号議案	令和7年度 収支決算について
第3号議案	令和8年度 事業計画(案)について
第4号議案	令和8年度 収支予算(案)について
第5号議案	令和8年度 会費の分担(案)及び納入時期について

福井県受益農地管理強化委員会



▲会場風景

令和8年6月10日(水)、福井県土地改良事業団体連合会役員室にて13時半より「福井県受益農地管理強化委員会」を開催しました。委員の改選、事業報告、収支決算、予算等全議題原案のとおり承認されました。

【委員名簿】(令和8年4月1日～令和10年3月31日)

北陸農政局 土地改良管理課長	佐藤 大治郎
福井県 地方務局 登記部門 首席登記官	杉山 元
金井法律事務所 弁護士	金井 亨
福井県 農林水産部 副部長(農村振興課長)	砂村 隆志
足羽川堰堤土地改良区連合 事務局長	前田 益伸
福井県土地改良換地士部会 部会長	竹内 義美
福井県土地改良事業団体連合会 専務理事	小堀 健司
福井県土地改良事業団体連合会 事業部長	千秋 越裕

福井県管理運営体制強化委員会



▲会場風景

令和8年6月10日(水)、福井県土地改良事業団体連合会役員室にて14時15分より「福井県管理運営体制強化委員会」を開催しました。委員の改選、事業報告、収支決算、予算等全議題原案のとおり承認されました。

【委員名簿】(令和8年4月1日～令和10年3月31日)

北陸農政局 土地改良管理課長	佐藤 大治郎
福井県 農林水産部 副部長(農村振興課長)	砂村 隆志
福井県 農村振興課 農地保全G 主任	新海 隆介
坂井北部土地改良区 理事長	齊藤 恵治
福井県土地改良事業団体連合会 専務理事	小堀 健司
福井県土地改良事業団体連合会 事業部長	千秋 越裕

令和7年度 北陸地区農地集団化促進協議会総会



▲総会風景

令和8年6月29日(月)、加賀・粟津温泉「のとや」会議室にて、「令和7年度北陸地区農地集団化促進協議会総会」を開催しました。総会に先立ち、令和7年度北陸地区農地集団化促進協議会永年勤続者表彰式を行い、下記の4名が受賞されました。本県からは、敦賀市土地改良区の良方輝男さんがその功績を称えられています。

【北陸地区農地集団化促進協議会永年勤続者表彰】

新潟県	柏崎土地改良区	上村 康秀
富山県	黒部川左岸土地改良区	室谷 智子
石川県	石川県土地改良事業団体連合会	前田あさみ
福井県	敦賀市土地改良区	良方 輝男



▲表彰者と記念撮影

その後総会を開会し、全4議案原案どおり承認されました。総会終了後、北陸地区農地集団化促進協議会研究会を開催し、翌日は現地研修を行い、全日程を終了しました。

※ 役職等については各要請活動時のものを記載しています。

要請活動

農業農村整備の集い ～農を守り、地方を創る予算の確保に向けて～



▲二階会長による主催者挨拶



▲進藤都道府県水土里ネット会長会議顧問による来賓挨拶



▲ガンパロウ三唱の様子

令和8年6月15日(月)シェーンバッハ・サボー(東京都)にて、「農業農村整備の集い」が開催されました。会場には、約1,300人の土地改良関係者が全国各地から参集し、鈴木憲和農林水産大臣、鈴木俊一自民党幹事長をはじめ多数の国会議員や農林水産省幹部の方々がご臨席されていました。

開会にあたり、二階俊博全土連会長より「農業の構造転換を集中的に進めるための別枠予算を確保いただいた。我々土地改良団体は、この予算を活用し、農業・農村の発展にむけ、積極的に取り組んで行かなければなりません。私どものスローガンである”闘う土地改良”の下、関係国会議員の皆さんのお力添えをいただきながら、一致団結してさらなる発展に向けて闘いを続けていく」と主催者挨拶が行われました。その後、鈴木憲和農林水産大臣、鈴木俊一自民党幹事長、森山裕自民党食料安全保障強化本部長、宮下一郎自民党総合農林政策調査会長、野中厚自民党農林部会長、進藤金日子都道府県水土里ネット会長会議顧問よりそれぞれ祝辞が述べられました。

続いて全国土地改良大会開催県である奈良県土連の菅谷義寛常務理事より「別枠を含めた、農業農村整備関係予算の総額確保」を含む8項目を盛り込んだ要請文が朗読され、全会一致で採択されました。

最後に「全国水土里ネット女性の会」石川房代小山用水土地改良区事務局長、西彩熊本県土連天草支所長、栗野祐子丹波篠山土地改良協議会事務局長を代表に、参加者全員で「ガンパロウ三唱」を行い、幕を閉じました。

北陸四県土地改良事業団体連合会協議会 中央要請



▲麻生副総裁への要請活動

令和8年6月8日(月)、9日(火)東京都において、北陸四県の土地改良事業団体連合会から正副会長、事務局が出席し、令和9年度農業農村整備事業の予算措置に関して、財務省、農林水産省、関係国会議員並びに自民党本部に対して要請活動を行いました。

8日に、自民党本部において麻生太郎副総裁へ、農林水産省において山本啓介農林水産大臣政務官及び松本平農村振興局長へ、9日に財務省にて中谷真一副大臣へ要請書を手交しました。要請内容の概要は下記のとおりです。

< 要請書概要 >

1. 農業生産を持続可能なものとする土地改良事業の計画的な推進のため、必要な予算を安定的に確保すること。その際、地域財政の実情に即した柔軟な運用ができるよう配慮すること。また、新たな食料・農業・農村基本計画の実効性確保のための「農業構造転換集中対策」を着実に推進するうえで必要な別枠を含めた予算を確保すること。特に、ほ場の大区画化を迅速に進める観点から「大区画化等加速化支援事業」を継続的に実施できるよう支援すること。
2. 発生から約3年が経過し、未だ復旧の最中にある「令和6年能登半島地震」及び「令和6年奥能登豪雨」により、甚大な被害を受けた北陸地域の農地・農業用施設並びに、農村生活環境施設について、復旧・復興を加速化させるとともに、災害防止の取組を早急に進めること。あわせて、災害発生直後の初動体制の強化並びに、国、県、市町村等との連携強化を推進すること。
3. 農村地域の国土強靱化を図るため、老朽化した農業水利施設の更新・長寿命化や豪雨・地震対策、ICT、AI等を活用した保全管理の省力化・高度化等を推進すること。
4. 「第1次国土強靱化実施中期計画」を推進するとともに、防災・減災対策としての役割も担う「多面的機能支払交付金」と「中山間地域等直接支払交付金」については、交付金を活用した取組みが各地で展開され、農業者と地域をつなぐ重要な役割を果たしており、今後も継続的に取組む必要性があることから、計画期間において、十分な予算を確保すること。
5. 「地域計画」の推進や農業水利施設を適切に保全管理している土地改良区に対し、「連携管理保全計画(水土里ビジョン)」に基づく維持管理及び運営基盤強化の支援等について、今後も継続すること。

県内各農業農村整備事業推進協議会 合同要請

令和8年6月15日(月)、16日(火)福井県内の5管内ごとに組織されている農業農村整備事業推進協議会を代表する土地改良区理事長等並びに福井県農地整備課小松宜紘課長とともに、中央要請活動を行いました。

山崎正昭参議院議員、稲田朋美衆議院議員、滝波宏文参議院議員を始め県選出国会議員並びに進藤金日子参議院議員を訪問し、①農業農村整備事業関係予算の確保、②農業水利施設等の維持管理体制強化への支援、③エネルギーコスト上昇等に対する支援の3点を柱に要請活動を行いました。また、農林水産省幹部職員には要請書を持参し要請活動を行いました。面談を行った議員には、各管内それぞれの課題に対する要望内容を直接訴え、課題解決への支援をお願いしました。

各種研修

換地計画実務研修会



▲研修会場風景

令和8年3月2日(月)、福井県国際交流会館において、「換地計画実務研修会」を開催し、換地業務に携わる県、市町、土地改良区等の役職員約60名が受講しました。

開会挨拶の後、北陸農政局農村振興部土地改良管理課の阿戸指導官から所有者不明農地の解消に向けて活用できる財産管理制度及び補助事業について、福井県農林水産部農村振興課農村環境Gの坂下主任から土地改良法の概要について、福井県農林水産部中山間農業・畜産課農地管理Gの山本企画主査から農地法について、本会土地改良課の清水主幹から土地改良制度における換地の基本についてそれぞれ講義がありました。

参加者からは「日頃業務の中で疑問に感じたり、対応に苦慮する点等について、事例を交えた講義で理解しやすく、今後の業務に役立てたい」といった声が聞かれました。

令和8年度 土地改良関係団体若手職員基礎研修



▲研修会の様子

令和8年5月18日(月)～20日(水)の3日間にわたり、東京都の全国都市会館、ホテルルポール麹町において、「令和8年度土地改良関係団体若手職員基礎研修」が開催されました。

全国から土地連、土地改良区の若手職員が集まり、福井県からは、本会職員1名、土地改良区職員3名が参加しました。

まずはじめに、全国土地改良事業団体連合会の室本専務理事、前田上席参与より開講の挨拶及び研修の目的について説明がありました。

1日目の座学講義では、傍島主任研究員、室本専務理事より農業農村をめぐる状況、農業政策の仕組み、土地改良事業・農業農村整備事業、予算確保の仕組みについて講義があり、特別講師として進藤議員より日本の食料自給率の現状、課題についてお話いただきました。また1日目の講義終了後に意見交換会があり、若手職員同士で交流を図りました。

2日目は、前田上席参与より土地改良法について、傍島主任研究員より1日目に引き続き土地改良事業に関する講義がありました。室本専務理事からは「自分を磨くコツ」と題して講義があり、仕事の取り組み方等について学びました。講義終了後にグループディスカッションを行い、農業農村を将来につないでいくための課題をテーマにグループ毎で話し合いを行いました。

最終日には、グループディスカッションで話し合ったことをグループ毎にまとめ、発表をしました。全体の発表を通して、農業の担い手不足等が課題として挙げられ、解決策として農業体験やSNS等での情報発信を通して農業への理解を深めてもらうことなどが挙げられました。発表後に、室本専務理事から講評と閉講の挨拶があり、研修の全日程が終了しました。土地改良事業等に関する幅広い知識を得るとともに、参加者同士の交流を深める機会となりました。

福井県大区画化等推進協議会を設立



設立総会の様子

令和8年3月18日(水)、福井県土地改良会館大会議室にて、「福井県大区画化等推進協議会」の設立総会を開催しました。

国は令和7年度補正予算において、食料・農業・農村基本計画に基づき、初動5年間で農業構造転換を推進し、生産性の向上を図ることとしています。これに伴い、法人等の農業者らが自ら行う畦畔除去等の簡易整備による農地の大区画化の取組を支援する「大区画化等加速化支援事業」が創設されました。

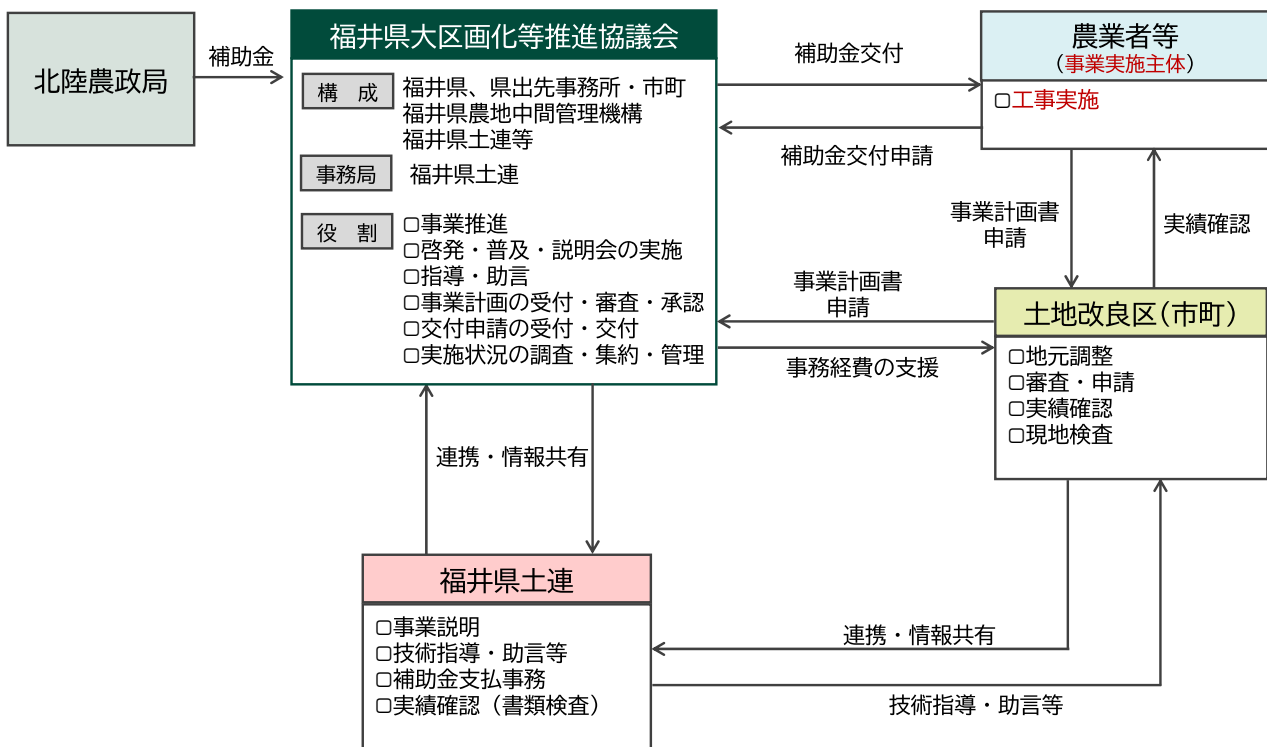
「大区画化等加速化支援事業」は都道府県単位に設置した協議会を経由して助成する制度であることから、国への申請や農業者への交付事務のほか、要望量調査や農業者に対する技術的な支援等を行うために、また事業の推進により福井県内の農用地の大区画化等を促進し、農業の生産性向上を図ることを目的として、本協議会を設立しました。

総会では、協議会の規約や諸規定、事業計画や予算、役員の選任等の全4議案が審議され、いずれも原案どおり承認されました。会長に本会の小堀健司専務理事を選任し、事務局を本会事務所内に設置しました。

「福井県大区画化等推進協議会」及び「大区画化等加速化支援事業」の概要については下記のとおりです。

福井県大区画化等推進協議会の概要

●事務局を福井県土地改良事業団体連合会に設置



大区画化等加速化支援事業の概要

1. 事業のねらい

今後20年間で基幹的農業従事者が減少するおそれが見込まれる中、少ない農業者で効率的な営農が可能となるよう、農地の大区画化は急務となっている。

国は、令和7～11年を農業構造転換集中対策期間と位置付け、1ha以上の大区画農地を6万ha整備することを目標としている。

2. 助成メニュー

- ・畦畔除去による区画拡大等の簡易な基盤整備を助成（上限あり）
（助成単価（上限）の例）畦畔除去 4万円/100m、区画拡大 6万円/10a

※ただし、実績（実際にかかった費用）が助成単価より低い場合は、低い方が適用。

- ・担い手に集約化（面的集積）や、1ha以上に大区画化する場合は助成単価が上げられる。

- ・詳細な助成内容、助成単価等については別途、担当者から説明。

ポイント【助成条件】

1. 農振農用地であること
2. 自ら工事（区画拡大）を行うこと（一部外注も可能）
3. 申請書を提出すること
4. 実績報告書を提出すること
 - ・写真（作業内容の実施前・実施中・実施後の写真）
 - ・購入・リースした資材等の領収書や作業日報など

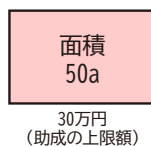
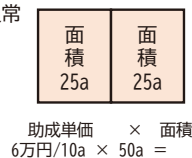
基盤整備の主な支援メニュー

事業種類	条件	助成単価			活用イメージ
		1. 通常	2. 集約化する場合	3. 大区画化する場合	
農用地の 区画拡大	畦畔除去のみ	4万円/100m 【4万円/100m】	4.5万円/100m 【4.5万円/100m】	5万円/100m 【5万円/100m】	畦畔除去
	ほ場の高低差が10cm以下、かつ、表土扱いを行わない場合	5万円/10a 【7万円/10a】	7万円/10a 【8万円/10a】	7.5万円/10a 【9万円/10a】	畦畔除去
	ほ場の高低差が10cm以下、かつ、表土扱いを行う場合	18.5万円/10a 【25.5万円/10a】	22万円/10a 【30.5万円/10a】	24万円/10a 【33.5万円/10a】	区画拡大
	ほ場の高低差が10cmを超え、かつ、表土扱いを行う場合	20万円/10a 【27.5万円/10a】	24万円/10a 【33万円/10a】	26万円/10a 【36万円/10a】	区画拡大

※助成単価上限は農業者の自力施工の場合、下段の【】は委託施工の場合。
※その他メニューあり。

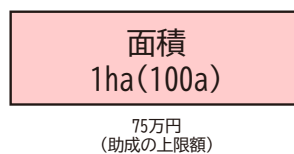
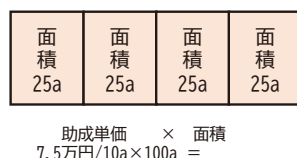
3. 区画拡大に関する支援モデル（代表例）

①通常



②大区画化する場合

※施工後の1区画（1枚）あたりの農地面積が1ha以上となる。



農地の区画拡大の流れ



【問合せ先】 福井県大区画化等推進協議会(水土里ネットふくい 事業部 計画設計課)
直通電話:0776-23-7776 e-mail:daikukakuka@midorinet-fukui.jp

農家負担金軽減支援対策事業

～利子助成等により償還額の軽減が図られます～

1. 地域生産基盤保全強化支援事業【利子助成】

国の補助を受けて実施された土地改良事業等※の実施地区において、要件を満たすことが確実と見込まれる地区に対して、保全強化支援計画に従って、受益者負担金の償還利子相当額の5/6を限度として助成

※担い手育成農地集積事業（公庫の無利子貸付）の対象事業を除く。

採択要件（1～4のいずれかに該当）

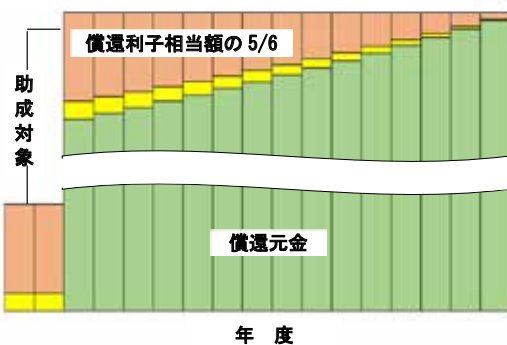
1. 目標年度までに、担い手農地利用集積率が以下のとおり増加すること。

採 択 時	目 標
80%未満	10ポイント以上増加※
80～90%未満	5ポイント増加
90～95%未満	95%以上
95～100%未満	シェア増加
100%	維持

※目標集積率60%未満は採択しない。

2. 目標年度までに、高収益作物※の生産額がおおむね20%以上増加すること。
※ 高収益作物とは、主食用米と比べて面積当たりの収益性が高い作物（野菜、花き・花木、果樹など）をいう。
3. 輸出事業計画の認定規程に基づき認定された輸出事業計画との連携が図られること。
4. 先端的な技術を活用した生産方式との適合が図られること。

利子助成のイメージ



借入額が多ければ利子が大幅に軽減！

県営事業において、54百万円を6年間（合計3億24百万円）2.95%、17年償還（うち据置2年）で借り入れた場合の最終償還までの負担額

償還利子額	101百万円
△利子助成額	84百万円
実質利子負担額	17百万円

2. 農地有効利用推進支援事業【利子助成】

農地耕作条件改善事業を実施し、担い手への農地利用集積率が8割以上となる地区に対して、農地利用推進計画に従って利子助成

採 択 時	目 標
80%未満	80%以上
80～100%未満	シェア増加
100%	維持

※採択時の集積率80%以上の地区が対象に追加

- （1）受益者負担金の償還利子相当額の5/6を限度として助成〔事業費助成型〕
- （2）農地中間管理機構が農地の出し手（所有者）に対する賃料の一括前払に必要な借入資金に係る償還利子相当額を助成〔一括前払助成型〕

なお、災害時に利用できる災害被災地域土地改良負担金償還助成事業【利子助成】もあります。

【問合せ先】 福井県土地改良事業団体連合会（水土里ネットふくい） 総務部総務課
直通電話：0776-23-7777 ファックス：0776-24-1400

第48回全国土地改良大会 奈良大会



第48回全国土地改良大会

奈良大会 2026年11月17日(火)



開催趣旨 「はじまりの奈良 これからの奈良」

日本の古代国家の基盤となった奈良。太古の昔から、先人たちは土地を拓き、水を治め、稲作を展開し、安定した収穫を確保する努力をしてきました。私たちは、これを大切に引き継ぎ、これからも土地改良で、この美しい「奈良の水と土」を次世代に繋げ、発展させていくことが責務であると考えています。私たちは「第48回全国土地改良大会奈良大会」を「農業・農村の重要性」と「農業農村整備が果たす役割」を改めて認識する機会と捉え、全国からご参集いただいた土地改良事業関係者のみなさまと共に、農業の将来を見据えた土地改良の大切さを「日本のはじまりの地」「奈良」から発信します。

大会テーマ

『きれいな水』『豊かな土地』『美しいふる里』水土里が育てる まほろばの奈良

式典会場

式典 13:00~16:00
企業展示・パネル展示 10:00~15:30

奈良県コンベンションセンター

〒630-8013 奈良県奈良市三條大路1丁目691-1



物産展会場

10:00~15:30

奈良市役所南側 芝生広場

〒630-8580 奈良市二条大路南1-1-1



交歓会会場

17:00~19:00

奈良ロイヤルホテル

〒630-8001 奈良市法華寺町254-1



県内視察

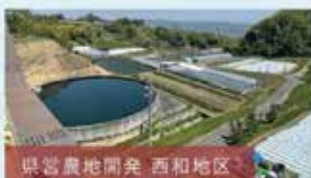
2026年11月18日(水)

事業視察地

1. 特定農業振興ゾーン(平群上庄・梨本地区)、道の駅大和路へぐり
2. 県営農地開発事業西和地区、JAならけん橋井富農経済センター
3. 信貴山のどか村
4. 斑鳩渾池
5. 白川渾池
6. JAならけん広域茶流通センター
7. 上津ダム

8. 管瀬高原ファームガーデン

9. 荒神の里・笠そば
10. NAFIC(なら食と農の魅力創造国際大学校)安倍校舎
11. 吉野川分水歴史展示館
12. 下淵頭首工
13. 一の木ダム、柿博物館
14. JAならけん西吉野柿選果場
15. 大迫ダム、森と水の源流館



県営農地開発 西和地区



下淵頭首工



柿博物館

【大会参加費:10,000円/1人(県内参加者:2,000円/1人) 交歓会参加費:10,000円/1人】

奈良県土地改良
事業団体連合会

〒634-0033 奈良県橿原市城殿町459

☎0744-29-1323 ☎0744-29-1312

E-mail: 48taikai@naradoren.or.jp

詳しくはホームページをご覧ください

奈良大会特設ホームページ

<https://www.naradoren.or.jp/event>



第7回 ふくいの農ある風景フォトコンテスト

訪れてみたい、触れてみたい、住んでみたい、ふくいの農業・農村。
ふくいで見つけた魅力的な写真をお待ちしております。

第7回 ふくいの **農** がある風景 フォトコンテスト

2026年8.1 ▶ 2027年1.29

- ◎最優秀賞 (1点) — 賞状、副賞3万円
- ◎優秀賞 (3点) — 賞状、副賞2万円
- ◎入選 (5点) — 賞金5千円
- ◎地域部門賞 (5点) — 地域の農林水産物(5千円相当)
※福井、坂井、奥越、丹南、嶺南地域で撮影された作品から各1点選定
- ◎高校生部門賞(計4点) — 金賞1万円、銀賞5千円
- ◎最終選考作品(約10点) — 粗品(500円相当)

審査委員長



応募先・問合せ先／ふくいの農ある風景フォトコンテスト実行委員会事務局
〒910-8580 福井市大手3丁目17-1 福井県庁8階
福井県 農林水産部 農村振興課
TEL：0776-20-0453
主催／ふくいの農ある風景フォトコンテスト実行委員会 共催／福井県

公式ホームページ



Instagram



GREEN × EXPO 2027

地球と。 咲きに行こう。

The Blooming Field of Planetary Citizens.

前売りチケット
販売中



公式マスコットキャラクター
トウクトウンク

©Expo 2027

前売りが断然、お得。
入場チケット販売開始
2026年3月19日(木)

前売りチケット	1日券	大人:4,900円	小人:1,400円
会期中販売チケット	1日券	大人:5,500円	小人:1,500円

開催期間：2027年3月19日(金) — 9月26日(日)

開催地：神奈川県横浜市（旧上瀬谷通信施設）



チケット購入はこちらから

公式販売Webサイト、または旅行代理店や各種プレイガイドから購入できます。

2027 チケット Q

※価格は全て日本円・税込みです。
（紙チケットを購入する場合は、別途 100 円（税込み）をいただく予定です。）
※3 歳以下の方は無料となります。
※前売りチケットの販売は 2027 年 3 月 18 日までとなります。



主 催：公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会 <https://expo2027yokohama.or.jp/>

「農林水産省からのお知らせ」

土地改良関係者の皆様におかれましても
積極的なご参加をお願いします。



水土里ネットふくいでは、会員支援を目的に相談窓口を設けています。
お気軽にご活用ください。

た め 池 相 談 窓 口

福井県ため池サポートセンター 直通電話：0776-23-7776 ファックス：0776-24-1400

- <受付時間> ▶ 9時から12時 ▶ 13時から16時 ※ 月～金曜日（祝日、休日、年末年始を除く）
 <注意事項> ● ご相談は上記相談窓口（計画設計課）へ
 ● 来会、電話、メールでの対応とさせていただきます。
 ● ご相談の際には「ため池の番号」をお知らせください。

土 地 改 良 区 相 談 窓 口

会員支援室 直通電話：0776-23-7775 ファックス：0776-24-1400

- <受付時間> ▶ 8時半から12時 ▶ 13時から17時15分 ※ 月～金曜日（祝日、休日、年末年始を除く）
 <相談内容> ● 土地改良区の運営について
 ● 土地改良施設の保全について
 ● 訴訟・未収賦課金等の問題について

会 計 相 談 窓 口

総務部総務課 直通電話：0776-23-7777 ファックス：0776-24-1400

- <受付時間> ▶ 8時半から12時 ▶ 13時から17時15分 ※ 月～金曜日（祝日、休日、年末年始を除く）
 土地改良法の改正により令和4年度から貸借対照表の作成が義務化されたことにより、専門家である税理士および会計指導員による「会計業務」などに関するご相談を承ります。

農業基盤整備資金利率

令和8年7月21日付けの日本政策金融公庫
農林水産事業の農業基盤整備資金貸付利率
についてお知らせします。

問い合わせ先：(株)日本政策金融公庫福井支店
 TEL:0776-33-2385
 HP: <https://www.jfc.go.jp/a/>

区 分	融資期間に かわらず	融資期間別（一例）（％）			
		5年	10年	15年	20年
補助事業	県 営	3.15	—	—	—
	団体営	3.00	—	—	—
非 補 助	一 般	3.00	—	—	—
	利子軽減	3.00	—	—	—
災 害 復 旧	—	1.95	2.35	2.85	3.00

水土里ネットふくい（福井県土地改良事業団体連合会）の連絡先

〒910-0014 福井県福井市幾久町8番17号 (FAX) 0776-24-1400 <https://www.midorinet-fukui.jp>

総務課	}	(TEL) 0776-23-7777	soumu@midorinet-fukui.jp
企画開発課			
土地改良課（会員支援室）	}	(TEL) 0776-23-7775	jigyo4f@midorinet-fukui.jp
システム管理課			
計画設計課（ため池サポートセンター）	}	(TEL) 0776-23-7776	jigyo3f@midorinet-fukui.jp
環境計画課 （農村環境分析センター）			
		(TEL) 0776-23-8560	

嶺南事務所 〒919-1542 福井県三方上中郡若狭町井ノ口37-8-6 (TEL/FAX) 0770-62-1244

